

2018年9月に新センターの【L&Vセンター】がオープンしました。

L&Vの意味は、『Logistic & Value』の略で、ロジスティックから新たなバリュー（価値）を生み出していこう！という思いを込めての命名となりました。

オーティーエスが長年培ってきたファッション物流サービスのノウハウに新たな機能を付加することで、よりお客様に貢献できる新しい価値を生み出そうと、会社一丸となって日々チャレンジしています。

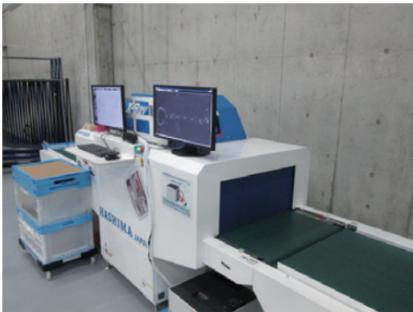


◆◆◆L&Vセンターでは現在、**修理工房**と**カスタマーサービス**担当する部署があり、それぞれ専門の熟練スタッフが対応しています◆◆◆
どちらも湾岸センターからのお引越となりました。移動して半年経ち、新たな職場にもすっかり馴染んだところで取材に行ってきました！

修理工房



▲OTSが誇る修理チームの職場風景。ミシン糸が色とりどり取り揃えられているのを見るとちょっとワクワクします。



エックス線検査機



プレス機



しみ抜き機



修理工房 Q&A

Q. 新たなセンターに移転した理由は？

A. 修理の取扱いが大幅に増えたことにより、スペースの問題や、新たな機材を導入するにあたっての電源環境等の問題がありました。
このL&Vセンターは、作業スペースから導線に至るまで十分なスペースが確保できていて、作業効率が格段にアップしました。

Q. OTSが得意とする修理は何ですか？

A. 針や金属片などの異物除去です。
X線検針機を導入しているので、異物混入箇所の特定が容易にできます。
また、除去後に異物の取り残しが無いかの再確認も可能です。
OTSでは難易度の高いダウン製品の異物除去もおこなっています。

Q. OTS修理工房のアピールポイントは？

A. お客様のご要望に対して、臨機応変にスピーディな対応ができることです。
「出来る限り早く良品化したい！」「〇日までに仕上げたい！」など、
修理納期にお困りのお客様は、各担当者までお問い合わせください。

(葛西広報委員 只野)

OTSで働く従業員の必ず触れられている【段ボール】に対する工夫特集

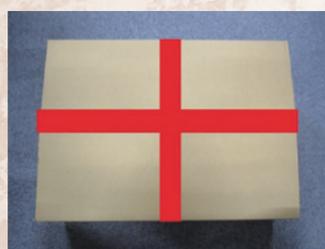
【段ボールのガムテープの留め方】

OTSで働いて一番最初にビックリした事が、段ボールの組み立て速度です。段ボールはガムテープを【留める】【切る】が秒速です。ガムテープカッターの歯で手を切ってしまうのではないかと思います。実際の切っていないですよ！
そこで今回は、ガムテープの留め方（標準的な留め方からマニアックな留め方）までを紹介します。



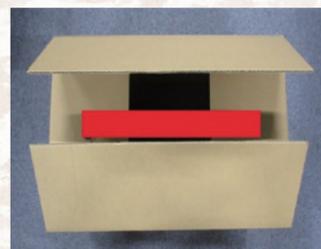
【H留め】

段ボールは構造上、中央の部分には圧力が掛かりますが、角の箇所にはあまり圧力は掛かりません。
そこで段ボールの角の隙間をガムテープで留める方法になります。



【十留め】

段ボールは底の中心部に最も圧力がかかります。底抜け事故の原因はこの底中央部の強度が不足し、ガムテープが破れてしまうからです。
この点を改善する方法がこの十留めになります。H留めより簡単で強度も十分な留め方になります。



【モノック構造】

①まず内側の耳を留める②外側を留める
段ボールの内側の耳にガムテープを貼り固定します。この方法の利点は、内側の耳をガムテープで固定することで面が出来上がり、力が分散して丈夫な段ボールを作ることが出来ます。



【米留め】

米（*）の字のような貼り方をします。底抜けの原因である底の中心部を徹底的に補強する方法です。
ガムテープの消費が大きいのが欠点ですが、絶対に底抜けさせてはならないような高価で重い荷物を梱包する際にはお勧めの方法です。

調べてみるとH留めが一般的だと思っていましたが、色んな方法がありました。他にも段ボール素材の種類やガムテープの種類等、特集出来るネタが多々ありました。
「OTS段ボール組み立て競争」を開催したら面白いだろうな、、、密かに思っています！！ 以上 (新砂広報委員 岩田)